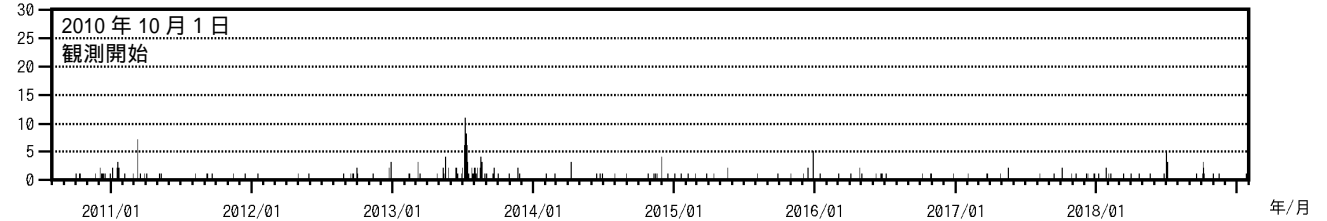


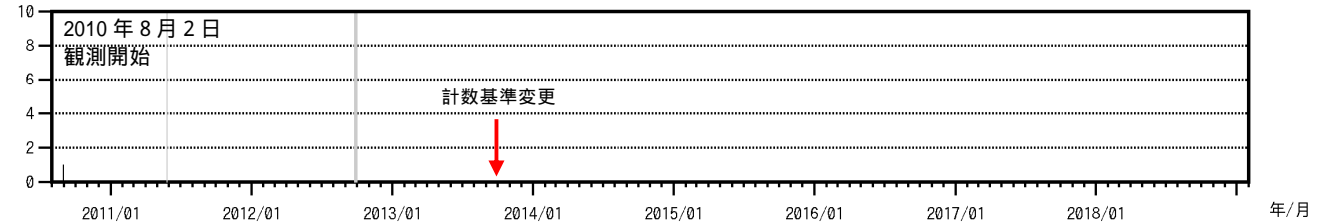


【計数基準の変遷】  
 A型地震  
 2010年10月1日(観測開始)～ 瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内  
 B型地震  
 初期 2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 $\mu$ m/s以上  
 変更 2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 $\mu$ m/s以上

① 日別A型地震回数



② 日別B型地震回数



③ GNSS観測 若郷-新島(国) (基線長 6173m)

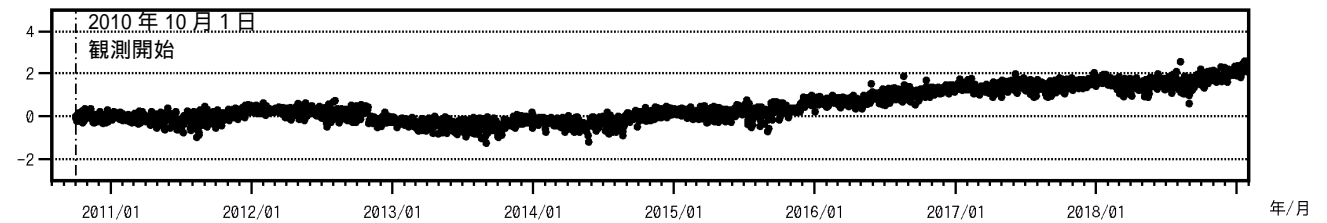
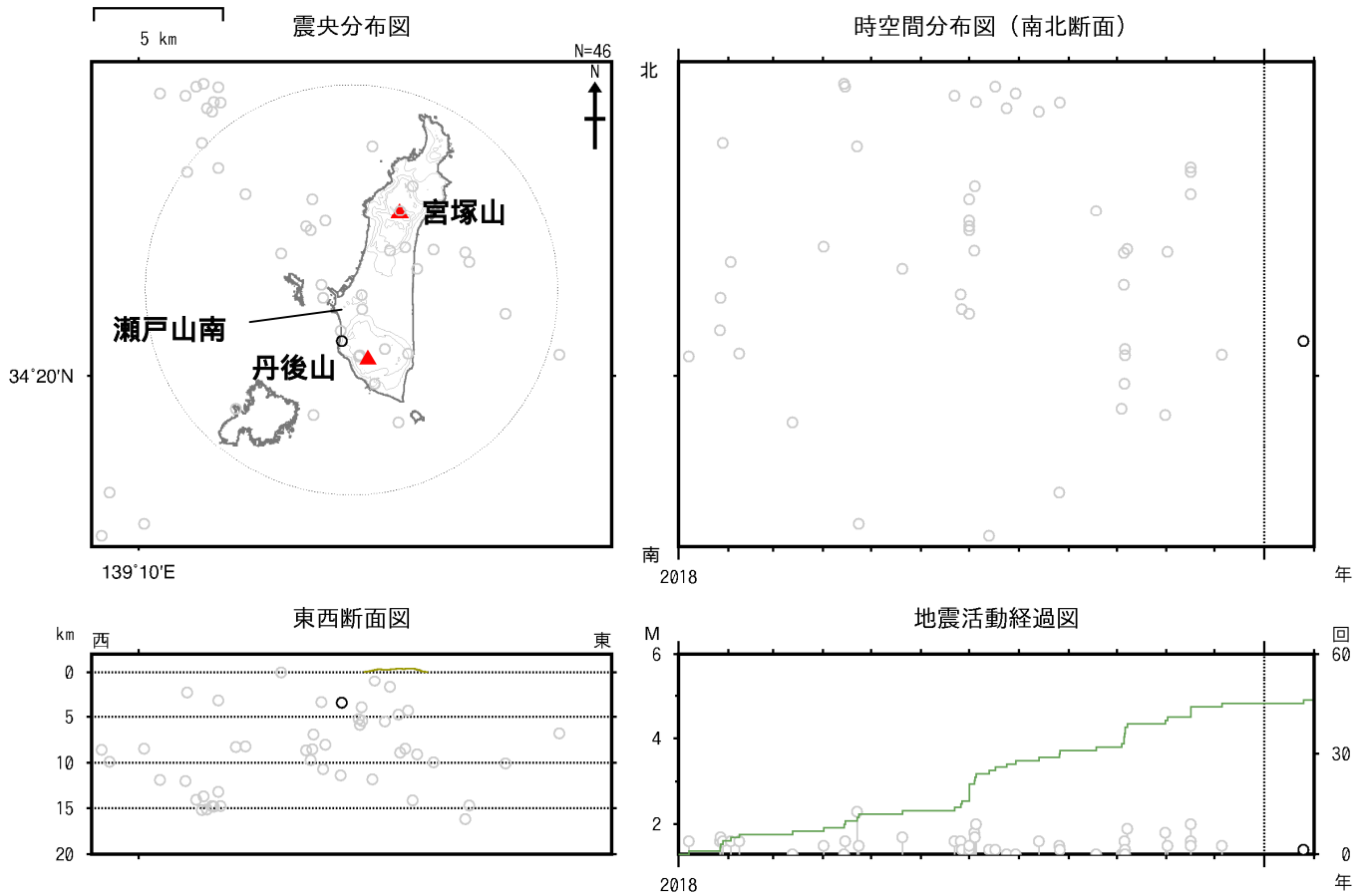


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2019年1月31日)  
 のグラフの灰色部分は機器障害のため欠測を示します。  
 のグラフは図1のGNSS基線 に対応しています。



：2018年1月1日～2018年12月31日      ：2019年1月1日～1月31日

図4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動(2018年1月1日～2019年1月31日)

広域地震観測網により震源決定したもので、深さは全て海面以下として決定しています。

M(マグニチュード)は地震の規模を表し、M1.3以上の地震を示しています。

図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。

計数対象(瀬戸山南から半径約8km、深さ約20km以内)以外の地震が含まれるため、図3 - の日別A型地震回数とは異なります。

震央分布図中の円は火山性地震の回数の計数対象(瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内)の範囲を示しています。